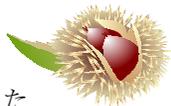




御所見通信

第 6 号
2021.9.30
藤沢市立御所見小学校
校長 加瀬 良一

先週末から気温も下がり、過ごしやすい秋の訪れを感じます。学習、読書、スポーツ、食欲等の秋をコロナ禍でも可能な範囲で楽しめたらと思います。数が増えつつあり、9月下旬から新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少しつつあり、医療体制の逼迫度も改善の兆しが見え始めたこと等により、神奈川県緊急事態宣言が明日、10月1日から解除されるという発表がありました。コロナワクチン接種率の増加等も改善の要因として挙げられていますが、やはり一人ひとりの日々の感染防止対策が最も大切なことには変わりありません。学校における生活様式について今後も気を緩めることなく、児童と共に取り組んでいきたいと思ひます。



◎感染症対策と子どもたちの学び、時間の保障について

新型コロナウイルス感染症への感染について、日々ご心配が続いていることと思ひます。高齢の方がいる、基礎疾患のある方がいる等それぞれのご家庭の状況により、ご心配の内容も様々であると思ひます。感染リスクを減らすためには、人と人との接触を減らすことといわれています。学校は児童を集めることで接触の可能性を高めてしまっていますが、新しい学校生活様式を守ること、接触を避けながら教育活動を行っています。感染のリスクを伴うコロナ禍での学校の教育活動に関して、文部科学省は次のような考えを示しています。

＜基本的な考え方＞社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況であることから、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立をする必要がある。そのためには、感染症対策を講じつつ、学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、学校教育ならではの学びを大事にしながらか教育活動を進め、最大限子どもたちの健やかな学びを保障し、新学習指導要領の目指す学びを着実に実現していかなければならない。

子どもたちの健やかな成長に欠かせない、学校教育ならではの学びとはどんな学びでしょうか。

- ①「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための、協働的な学び合い
- ②様々な教科の見方考え方を学ぶことによる、なぜ学ぶか（学びの意義）の実感
- ③学級・学年・異学年の共同生活、協働、交流等における人と人との関わり
- ④文化的、体育的等の学校行事における協働や自己実現
- ⑤遠足・宿泊等の校外行事における社会性の向上や周りの人との絆づくり等が挙げられると思ひます。
- ①は新学習指導要領の目指す教科での学びを、児童同士の学び合いによって深める、教科教育の根幹となる活動です。
- ②は生涯にわたって学び続ける姿勢の礎となる大切な実感です。
- ③の人と人との関わりには、様々な人の考えや個性、人格、状況等を受け入れ、他者や自分のよさを見つけ信頼関係を築いたり、人との折り合いをつけたりとコミュニケーション能力の向上要素、いじめをしないさせない集団形成、心身の健やかな成長等、多岐にわたって含まれます。
- ④は③を併せて、さらに児童それぞれの可能性を見だし、得意分野の発見や伸長につながります。
- ⑤の宿泊行事は、寝食を共にすることによって、家族とはまた別な、一生の思い出となるような、かけがえのない関係づくりや絆につながります。



また別の視点から、成長期の子どもたちの時間について考えてみたいと思ひます。大人になると月日の流れをととても早く感じるがあります。これは一説に、ジャンエの法則という心理学的な考えから、「時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する（年齢に反比例する）」というものがあります。例えば、40歳の人にとっての1年は、人生の1/40に相当しますが、10歳の児童にとっての1年は、人生の1/10に相当するといふ心理的長さです。ですので、10歳の1日は、40歳の4日にあたる感覚です。さらに、一般的に子ども頃はまだ知らないことが多く、毎日のように新しい経験や発見があります。しかし、大人になると知っていることが増え、そのような新しいものに出会えるチャンスが少なくなります。人は未経験のものをやっているときは、それが強く意識に残り、時間が長く感じたり、記憶に残ったりしますが、慣れてしまうとそれによる時間の長さも気にすることが



少なくなり、早く感じたり、覚えていることが少なくなったりします。
 どんなに万全な感染対策を講じ、それを守る意識を高めても、感染リスクを0ゼロにするこ
 とはなかなか難しいですが、今後も可能な限りの対策、意識向上を行い、これらの学校教
 育ならではの学びや成長期の貴重な時間を、子どもたちに保障していきたいと思ひます。

学校教育目標

豊かに学び育つ御所見の子

～ えがお かがやき ささえあい ～

育てたい
子どもの
姿

- 自分で考えずんで取り組む子
- 夢に向かってがんばる子
- 自分も友だちも大切にする子
- 自律し、健康な心身をつくる子



お知らせとお願い

◎緊急事態宣言解除に伴う変更事項について 10月1日(金)の緊急事態宣言解除を受
 け、10月4日(月)より、全校の取組として次の変更を実施します。

- ・朝の健康調査票の確認が教室内に戻ります。
 (家族の健康確認は継続されますので、必ずチェックをお願いします)
- ・午前中の短縮40分授業が45分に戻ります。
- ・クラスを越えた活動の制限をなくします。
 (休み時間の校庭使用割り振りなし。委員会、クラブ活動等再開)
- ・清掃活動を再開します。それに伴い、月曜日の下校時刻が15分遅くなります。
- ・牛乳パックの処理の仕方は、10月18日(月)から洗う片付け方に戻ります。



◎6年生日光修学旅行延期について 9月23日～24日に予定されていた、6年生
 日光修学旅行ですが、神奈川県、栃木県ともに緊急事態宣言が発令されていたこと等か
 ら、藤沢市立小学校全体が2022年2月下旬～3月上旬に延期となりました。御所見小
 学校は、2月27日(日)～28日(月)に実施する予定です。

◎第1・第3・第5土曜日における市立小学校の校庭開放再開について 10月以降につ
 きましては校庭開放を再開します。「安全上の配慮から、遊びに来るときは必ず大人
 の人と一緒に来る」ということを改めてご確認くださいませようお願いします。

◎車での送迎自粛のお願い 以前より怪我などの特別な場合(許可証をお渡しします)を
 除き、車での児童の送迎については、ご遠慮いただきたくお願いしているところ
 です。特に東門前の道路を車が多数通行することで、児童の危険が増していること
 や愛児園の送迎に支障を来しているとの連絡が入っています。車での送迎につ
 きましては、自粛いただきますようお願いいたします。

10月・11月の行事予定

10/ 1日(金) テストメール配信 安全点検
 13日(水) クラブ活動
 15日(金) PTA 運営委員会
 18日(月) 令和4年度就学時健診
 20日(水) 5・6年運動会係活動
 21日(木) 4時間授業(研究会のため)
 5年八ヶ岳前検診
 27日(水) 朝会 5・6年運動会係活動
 28日(木) 5年4時間授業
 29日(金) 市内音楽会(2年2組参加)
 5年八ヶ岳野外体験教室1日目
 30日(土) " 2日目

11/ 1日(月) 5年代休 テストメール配信 安全点検
 給食費口座振替日(10月分)
 2日(火) 5年4時間授業
 3日(水) 文化の日でお休み
 9日(火) 5くみ公開日(午前)
 5・6年運動会係活動
 あすにのびる子ども展(14日まで)
 10日(水) 運動会(午前中・無観客)
 11日(木) 12日(金) 運動会予備日
 15日(月) 残食調査(19日まで)
 16日(火) 3・6年授業参観
 18日(木) 1・5年授業参観
 19日(金) 2・4年授業参観
 3年内市めぐり
 20日(土) 総合かがく展(28日まで)
 ※開催期間を10月より変更して実施します。
 23日(火) 勤労感謝の日でお休み
 24日(水) 委員会活動
 26日(金) 4時間授業(研究会のため)
 30日(火) 給食費口座振替日(11月分)



- ※10月のどこかで避難訓練を実施します。
- ※学校ホームページを更新していますので、是非ご覧ください。
- ※裏面に「藤沢市子どもをいじめから守る条例」についての案内を掲載しています。

ふじさわし こ まも じょうれい 藤沢市子どもをいじめから守る条例について

藤沢市には、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」があります。お子様と一緒に条例にある条文をお読みいただき、自分を大切にすること、他の人を大切にすることについて、一緒に考えてみてください。そして、日頃から、お子様の様子を注意深く見守っていただくとともに、いじめで困ったときは、学校や相談機関に相談してください。

ふじさわし じょうれい
藤沢市 いじめ 条例

けんさく
検索

QRコード

藤沢市の相談機関

- 藤沢市いじめ相談ホットライン 25-2500
- 藤沢市学校教育相談センター 50-3550

